

第13回入学式挙行

4月5日に第13回木曽青峰高等学校入学式が挙行されました。全日制普通科34名、理数科27名、森林環境科34名、インテリア科29名、定時制普通科2名の計126名の新入生が入学しました。

新入生のみならず、入学おめでとう。木曽青峰高校で学ぶ機会をしっかりと自らの手にすることができた喜びをかみしめるとともに、新たに始まる未知なる生活への不安も感じているのではないかと思います。諸君が今日までたどってきた道筋は様々であろうと思いますが、まずは、それを胸のなかで納めてください。本日からの本校における学園生活は、同じスタートラインに立って始まります。これからの新たな生活に対して全力で挑戦してください。みなさんの高校生活のスタートにあたり、所感の一端を述べ、お祝いの言葉とします。

「Boys, be ambitious」「青年よ、大志を抱け」という訳で有名なこの言葉は、言うまでもなく北海道大学前身の札幌農学校で教鞭を執ったクラーク博士が残した励ましの言葉です。しかし、実はこのあとに次のような言葉が続いています。「青年よ、大志を抱け。しかし、それは金銭や私欲のためではなく、また、いわゆる名声という空虚なもののためでもなく、それは、人として成すべきことに到達するためにあるものでなければならぬ。」始まりにあたり、ここにある「人として成すべきこと」について考えてほしいと思います。皆さんの志は何のためなのでしょう。

第二には、ここに集った仲間を大切な存在として意識してほしいということです。そこに、社会性を身につける基盤があると考えています。部活・各種行事、様々な体験を通して一人ひとりの弱さを仲間がカバーし合っともに成長を果たしてほしいのです。お互いに開かれた「対話」を重視し、あらためてそのような高校生活の創造にかかわってください。

第三には、「知」と「技」と「体」を鍛えてほしいということです。その確かな強さとともに森林の土壌をまた人の汗によって耕された里山

木曽青峰高等学校長 中村 宏

を思い返してください。その本質は吸水力のある柔らかな土にあります。高校における学びという行為は、吸収性を養う営みです。その上に今時代が求める創造的な「知」や正確な「技」、瞬発的な「体」が築かれます。この三年間、諸君が志をいただき、仲間を大切にしながら、柔軟性を磨いて、大きく成長してくれることを願っています。

一年二組 奥原 千琉璃（普通科・木曽町中卒）

私達は九年間の義務教育に終わりを告げ、今日から始まる高校生活に喜びや期待、不安など様々な思いを胸に新たな一歩を踏み出しました。高校では、自分の進路の実現に向けてより専門的な学習を行うと思います。今までと違い、これからは自分が進む道を決め、その道と真剣に向き合っていかなければいけません。そのことを頭に入れてよりいっそう学習に励んでいきたいと思います。

最後に校長先生を始め、諸先生方、並びに来賓の方々、そして先輩方、温かくそして時に厳しいご指導のほどお願いします。

この木曽青峰高等学校の生徒としての自覚と誇りを持ち、卒業を迎えるまでの日々、勉強や部活動に精一杯励み、先生方やこれまでの伝統を築いてきた先輩方に恥じることのないような高校生活を送ることをここに誓い、宣誓の言葉とさせていただきます。



高校生活スタート

新入生もいよいよ青峰での高校生活が始まりました！
1日も早く学校生活に慣れるよう、オリエンテーション、ガイダンス、対面式、クラブ説明会が行われました。

対面式

1年4組インテリア科 / 池田 楓【上松中卒】

緊張して頭が真っ白になりながらも、新入生代表として壇上で挨拶をさせていただきました。

先輩方が私達1年生のために、素晴らしい企画を計画してください、より一層高校生活への期待が膨らみました。

青峰生の一員としての誇りを胸に日々を歩んでいきたいと思っています。

ありがとうございました。

生徒会長3年3組森林環境科 / 藤井 裕士【大桑中卒】

1年生の皆さんご入学おめでとうございます。
先日対面式があり新生徒会、1年生にとっても大きな行事で色々と言ひ合わない所もありましたが、無事行うことができ嬉しく感じています。
新入生の皆さん新しく始まる高校生活を楽しんでください。

クラブ説明会・結成式

4月8日にクラブ説明会が行われました！
運動部12団体、文化部9団体、同好会1団体、計22団体が発表を行いました。
各部活、それぞれの活動実績・実演を行い、新入生に部活の魅力を伝えることができました。
興味あるクラブに1週間の体験入部をし、12日の結成式に参加しました。



定時制

長野県でも桜前線が北上しはじめた季節、定時制では2名の新入生を迎え、新学期が始まりました。4月8日に開かれた生徒会行事「対面式・クラブ説明会」では早速、先輩方との初顔合わせをしました。緊張混じりの笑顔が広がり、新しい風とともに今年度もスタートしました。



今年度もスクールマガジンを発行します。このスクールマガジンを通じて本校の様子を中学生及び地域の皆さんに紹介させていただきたいと思います。また本校のウェブサイトもあわせてご覧いただければ幸いです。

■木曽青峰高等学校 教務室 Tel : 0264-22-2315 / Fax : 0264-21-1056 URL : <http://www.nagano-c.ed.jp/seiho/>
◇ご意見・ご質問は下記までお寄せください。E-mail : seiho@nagano-c.ed.jp

